アルミ大型伸縮門扉

取付説明書 －ジャンボアルミ3型－

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付をしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

門扉は人や車が出入りするためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので設置の場所・目的に合わせて選択してください。

■ 施工上のご注意

- 商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。また、施工完了後に取付説明書を施主様にお渡しください。
- 扉走行床面は水平に仕上げてください。
- 電装商品の場合は配線工事を有資格の専門業者にご依頼ください。
- 施工完了後は扉の開閉チェックを行い、不具合が無いか確認してください。

■使用上のご注意

製品の破損等により身体に損傷等のおそれがありますので、以下の使い方を守ってください。

- 錠の付いている商品は、通常使用されない場合は必ず施錠してください。また、落とし棒の付いている商品は落とし棒も同時に下ろしてください。
- 開閉の時は必ず落とし棒を上げてから操作してください。
- 開閉時には手足・衣服等を挟まないよう、注意してください。また、人・物等の障害物が無い事を確認してください。
- 扉の上に物を載せないでください。
- 扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。

梱包明細表

1 本体セット

	名　　称	300	400
	本体300	1	ー
	本体400	ー	1
部品セット	連結金具	4	4
部品セット	連結金具裏板	16	16
部品セット	連結金具固定六角ボルト　M6×12（セムス）	16	16
部品セット	キャスターカバー	6	8
部品セット	キャスターカバー取付ネジ　M4×12ナベ（セムス）	6	8
部品セット	サロンストッパー埋込金具	1	1

2 レールセット

	名　　称	300	400
	レールL＝1,500m／m	2セット	ー
	レールL＝2,000m／m	ー	2セット
部品セット	レール連結用六角ボルト　M8×16	4	4
部品セット	柱取付用六角ボルト　M8×50	4	4
部品セット	六角ナット　M8	8	8
部品セット	平座金　M8	8	8
部品セット	アンカーボルト（ナット付）W1／4×100	8	8

3 レールスペーサーセット

名　　称	員数
スペーサー	4
柱取付用六角ボルト　M8×100	4
六角ナット　M8	4
平座金　M8	4

※レールタイプ時はレールスペーサーセットを1セット使用します。

4 柱セット

	名　　称	片開柱	両開柱
	ガイド柱（掛）	1	1
	ガイド柱（受）	ー	1
	戸当柱	1	ー
	吊元柱	1	2
部品セット	連結金具	4	8
部品セット	連結金具裏板	16	32
部品セット	連結金具固定六角ボルト　M6×12（セムス）	16	32
	サロンストッパー埋込金具	1	2
	取付説明書	1	1
	取扱説明書	1	1

5 転倒防止レールセット

	名　　称	300	400
	レールL＝1,500m／m	4	ー
	レールL＝2,000m／m	ー	4
	レール枕木	6	6
部品セット	レール枕木固定ネジ　M5×12（ナベセムス）	12	12
部品セット	レール連結用六角ボルト　M8×20	4	4
部品セット	柱取付用六角ボルト　M8×50	4	4
部品セット	六角ナット　M8	8	8
部品セット	平座金　M8	8	8
部品セット	アンカーボルト（ナット付）　W1／4×100	8	8

6 転倒防止金具セット

名　　称	300	400
転倒防止金具	6	8
金具取付用ネジ　M6×12（ナベセムス）	12	16

7 転倒防止レール用水抜き部品セット

名　　称	員数
水抜き部品	2
水抜き部品取付ネジ　M6×12（ナベセムス）	4

※転倒防止レール時は転倒防止レール用水抜き部品セットを1セット使用します。

型式一覧表

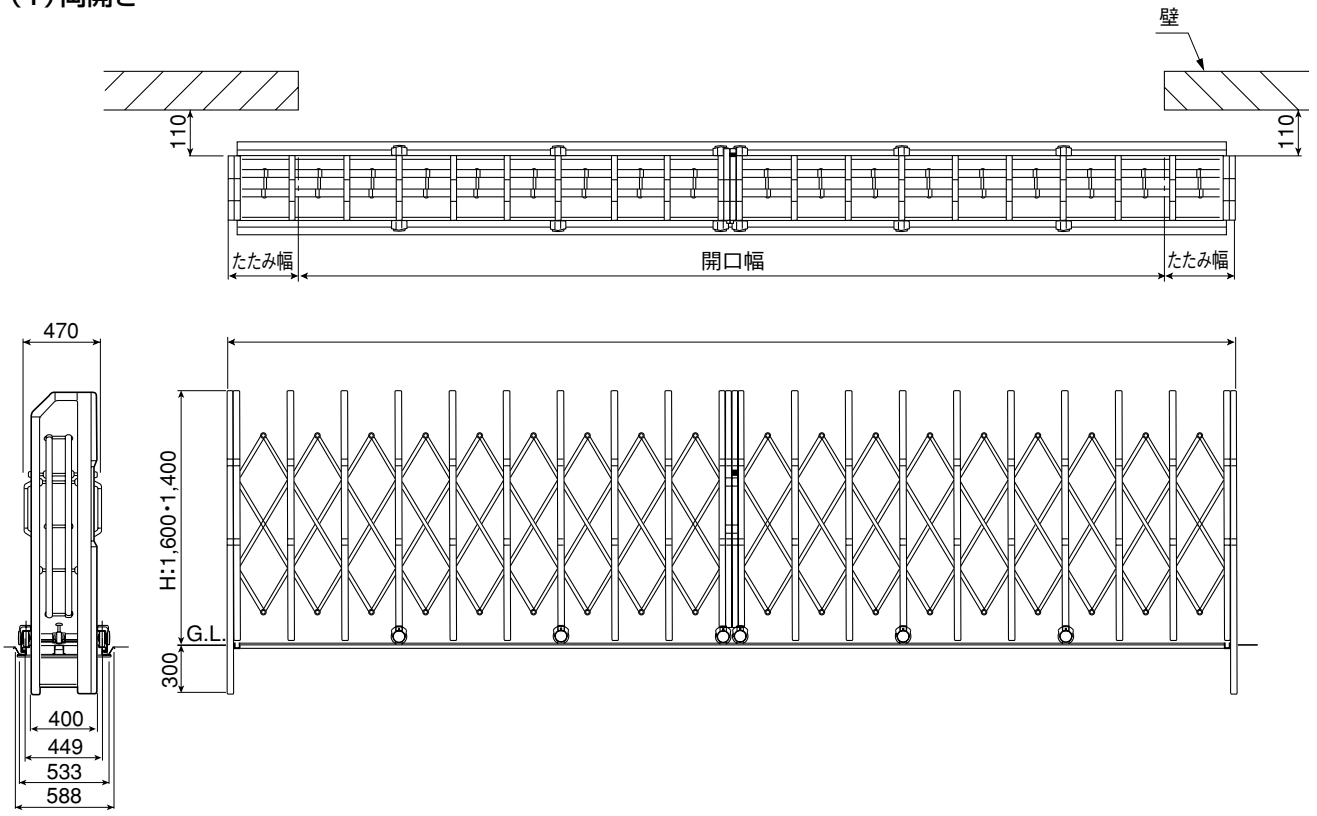
セット型式			商品寸法（m/m）					梱包数							
			全幅	レールタイプ開口幅	ノンレールタイプ開口幅	たたみ幅		本体		柱		レール		転倒防止金具セット	
								300	400	片開柱	両開柱	300	400	300	400
片開き	300S	◎	3,115	2,647	2,647	435		1	ー	1	ー	1	ー	1	ー
	400S	◎	4,115	3,542	3,542	540		ー	1	1	ー	ー	1	ー	1
	600S	◎	6,115	5,287	5,287	795		2	ー	1	ー	2	ー	2	ー
	700S	◎	7,115	6,182	6,182	900		1	1	1	ー	1	1	1	1
	800S	◎	8,115	7,077	7,077	1,005		ー	2	1	ー	ー	2	ー	2
	900S	◎	9,115	7,932	7,932	1,150		3	ー	1	ー	3	ー	3	ー
	1000S		10,115	8,827	ー	1,255		2	1	1	ー	2	1	2	1
	1100S		11,115	9,722	ー	1,360		1	2	1	ー	1	2	1	2
	1200S		12,115	10,617	ー	1,465		ー	3	1	ー	ー	3	ー	3
両開き	600W	◎	6,115	5,245	5,245	435	435	2	ー	ー	1	2	ー	2	ー
	800W	◎	8,115	7,035	7,035	540	540	ー	2	ー	1	ー	2	ー	2
	1200W	◎	12,115	10,525	10,525	795	795	4	ー	ー	1	4	ー	4	ー
	1400W	◎	14,115	12,315	12,315	900	900	2	2	ー	1	2	2	2	2
	1600W	◎	16,115	14,105	14,105	1,005	1,005	ー	4	ー	1	ー	4	ー	4
	1800W	◎	18,115	15,815	15,815	1,150	1,150	6	ー	ー	1	6	ー	6	ー
	2000W		20,115	17,605	ー	1,255	1,255	4	2	ー	1	4	2	4	2
	2200W		22,115	19,395	ー	1,360	1,360	2	4	ー	1	2	4	2	4
	2400W		24,115	21,185	ー	1,465	1,465	ー	6	ー	1	ー	6	ー	6

※ ◎はノンレール直進仕様が可能です。
※ 転倒防止金具セットは転倒防止レールタイプの場合のみ使用します。

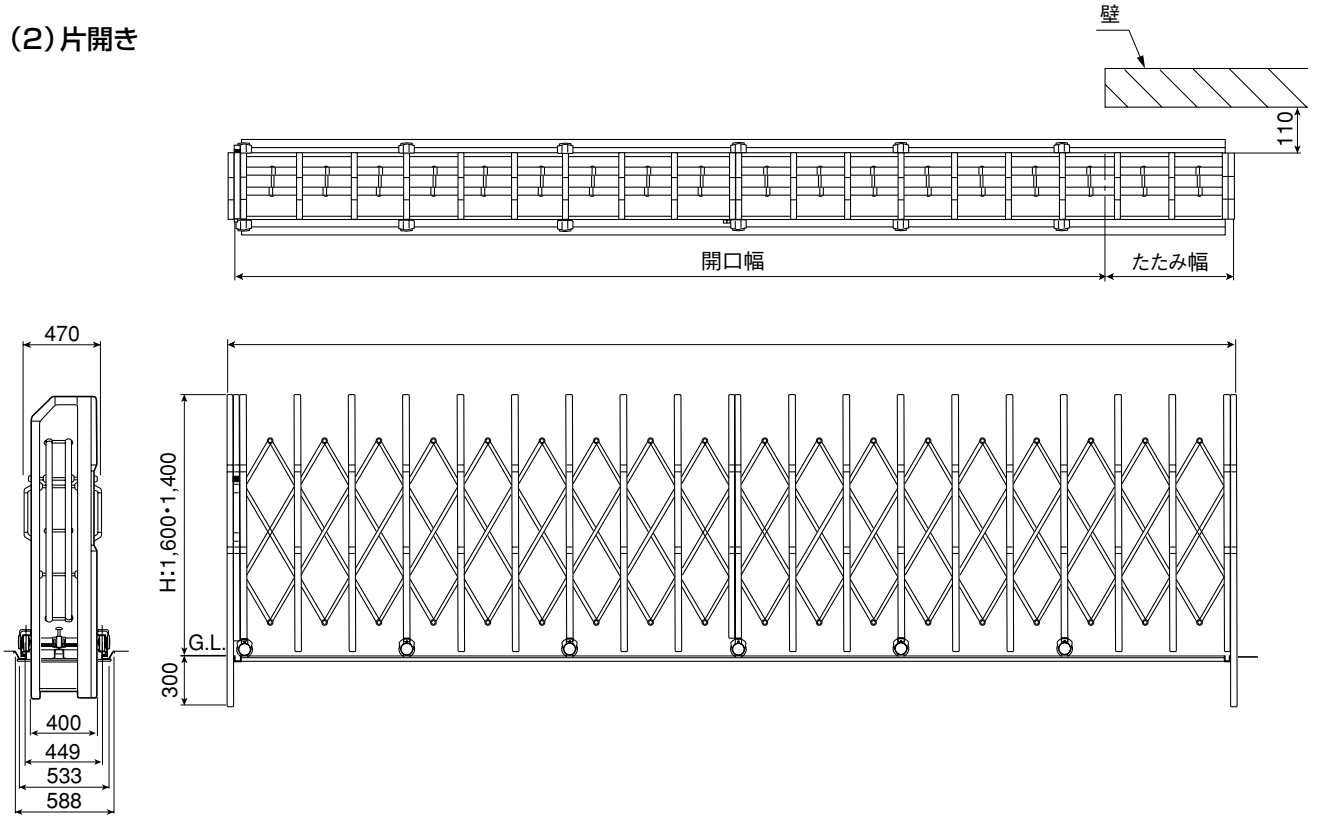
1. 施工寸法図

1-1 転倒防止レールタイプ

(1) 両開き

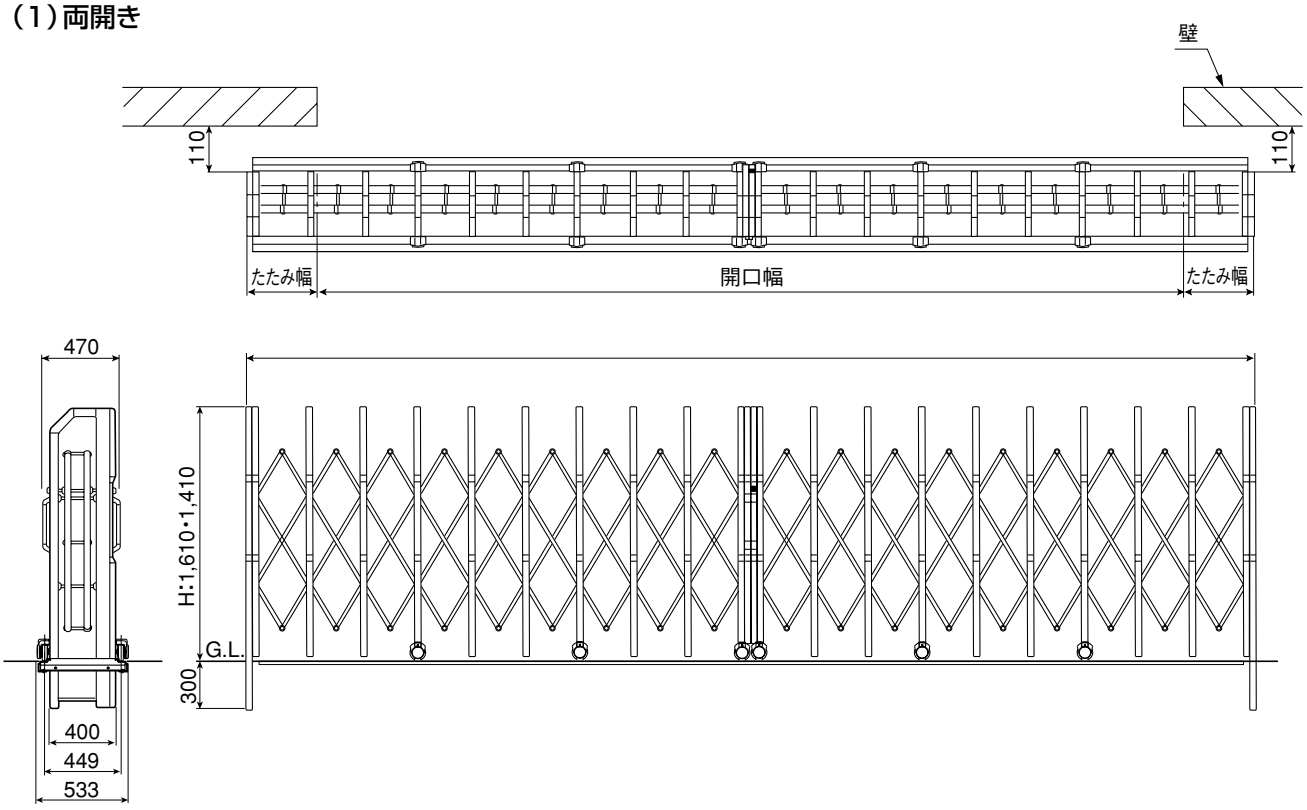


(2) 片開き

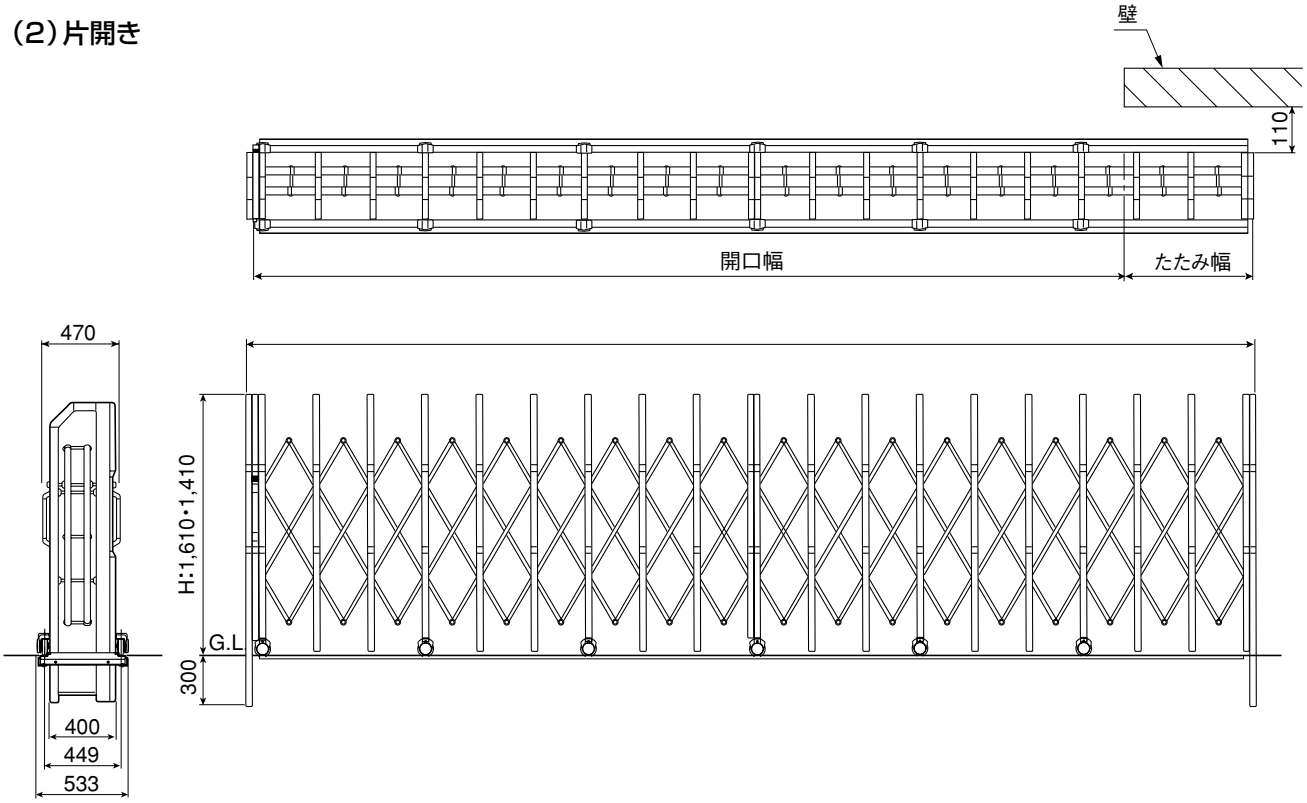


1-2 レールタイプ

(1)両開き

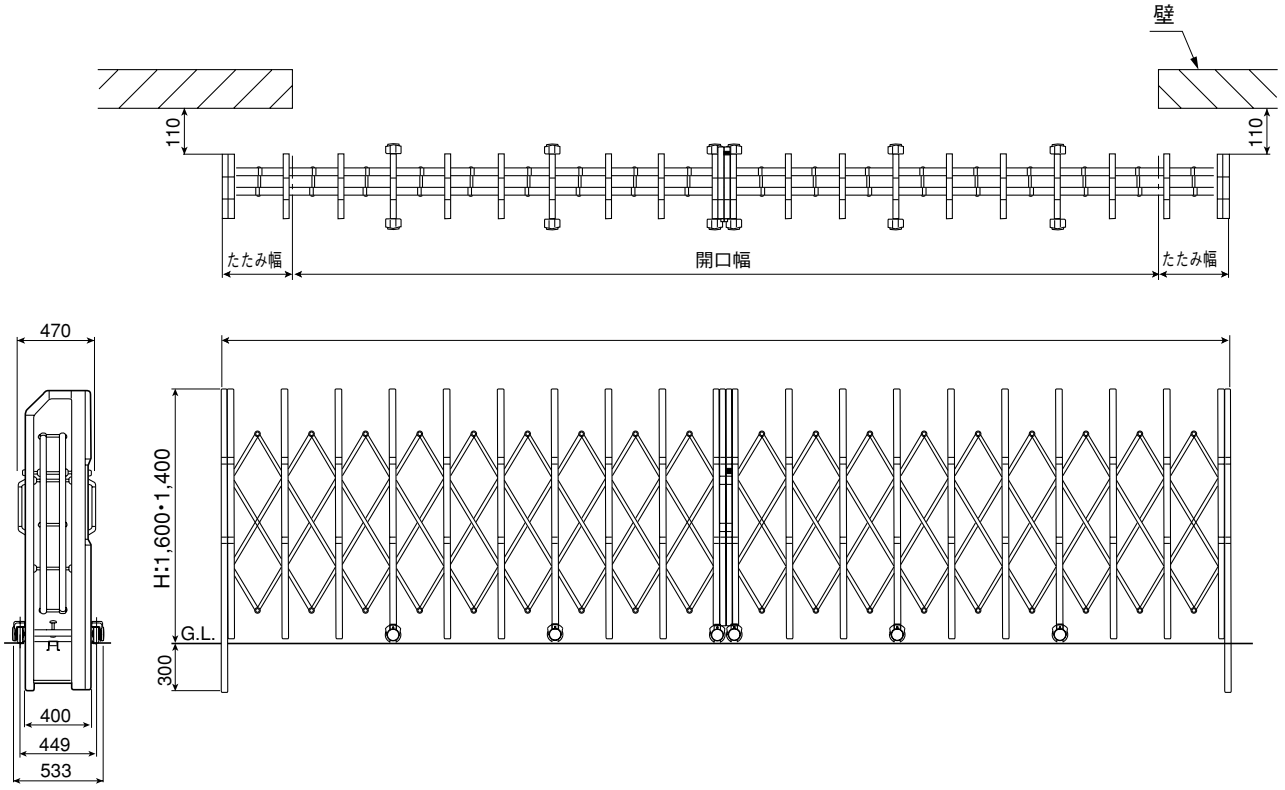


(2)片開き

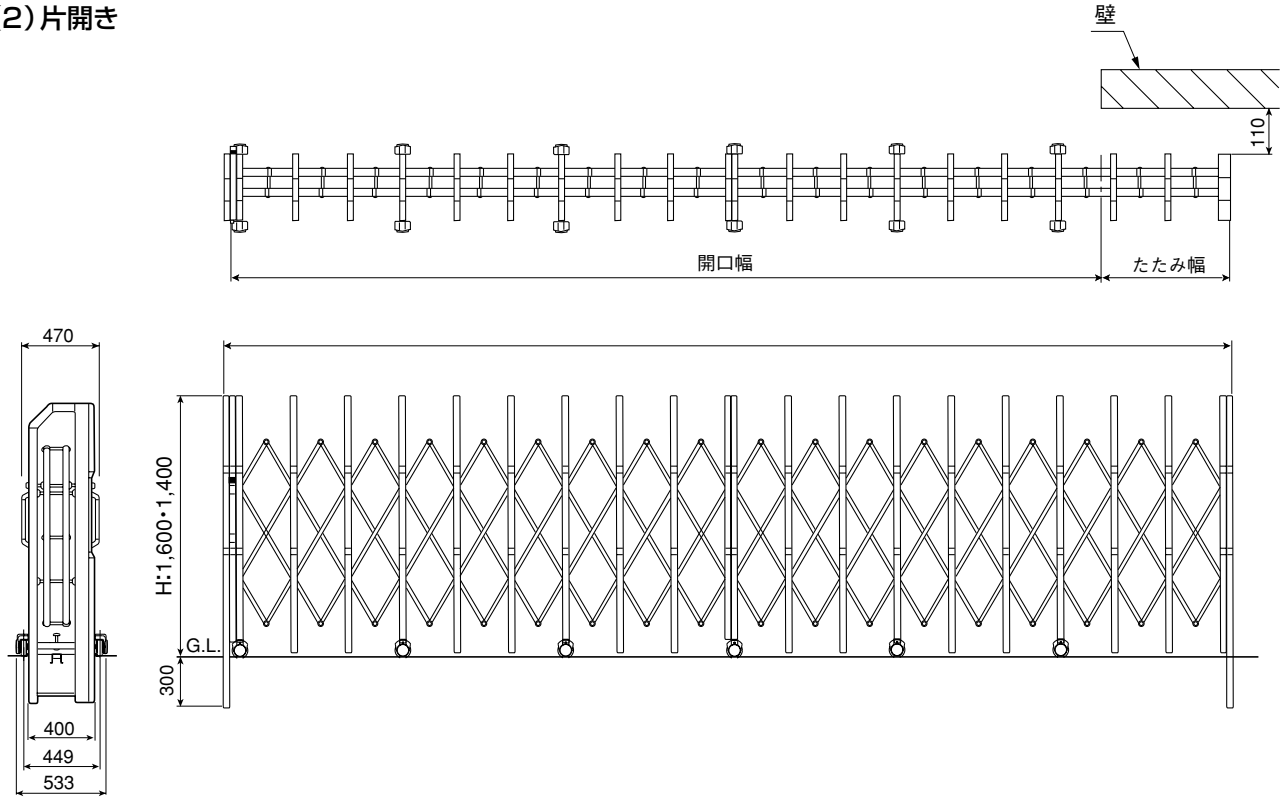


1-3 ノンレールタイプ

(1)両開き



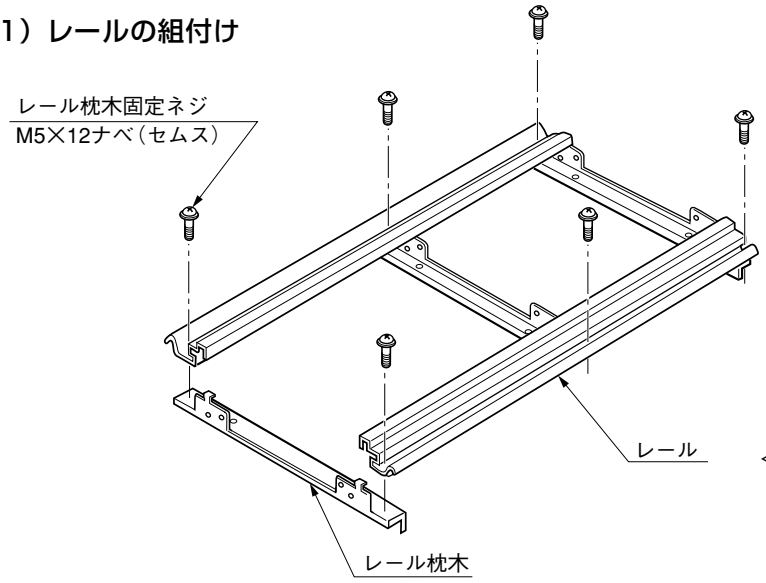
(2)片開き



2. レールの連結

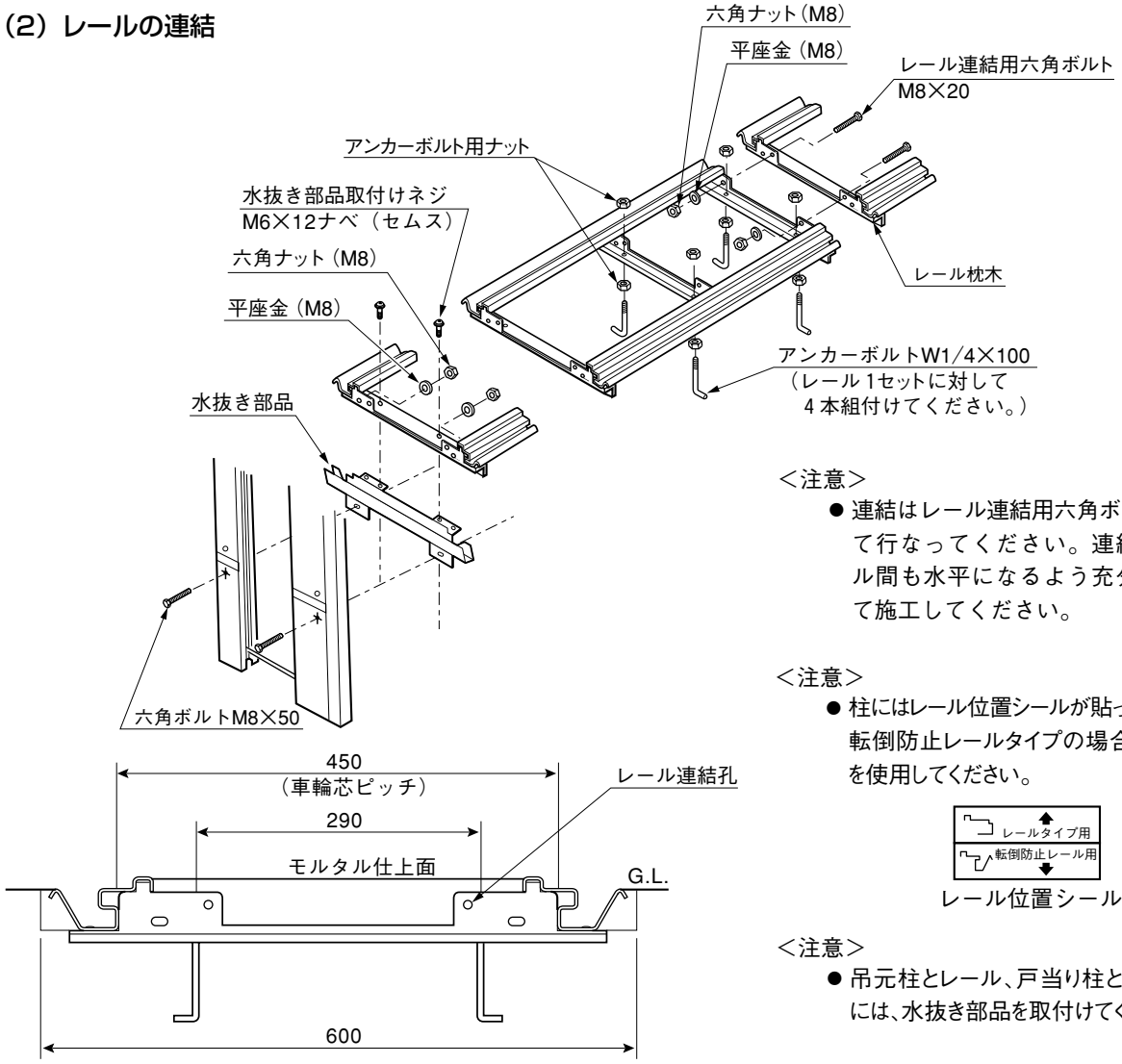
2-1 転倒防止レールタイプの場合

（1）レールの組付け



＜注意＞
- レール両端部に取付ける枕木の向きに注意してください。

（2）レールの連結



＜注意＞
- 連結はレール連結用六角ボルトによって行なってください。連結したレール間も水平になるよう充分に注意して施工してください。

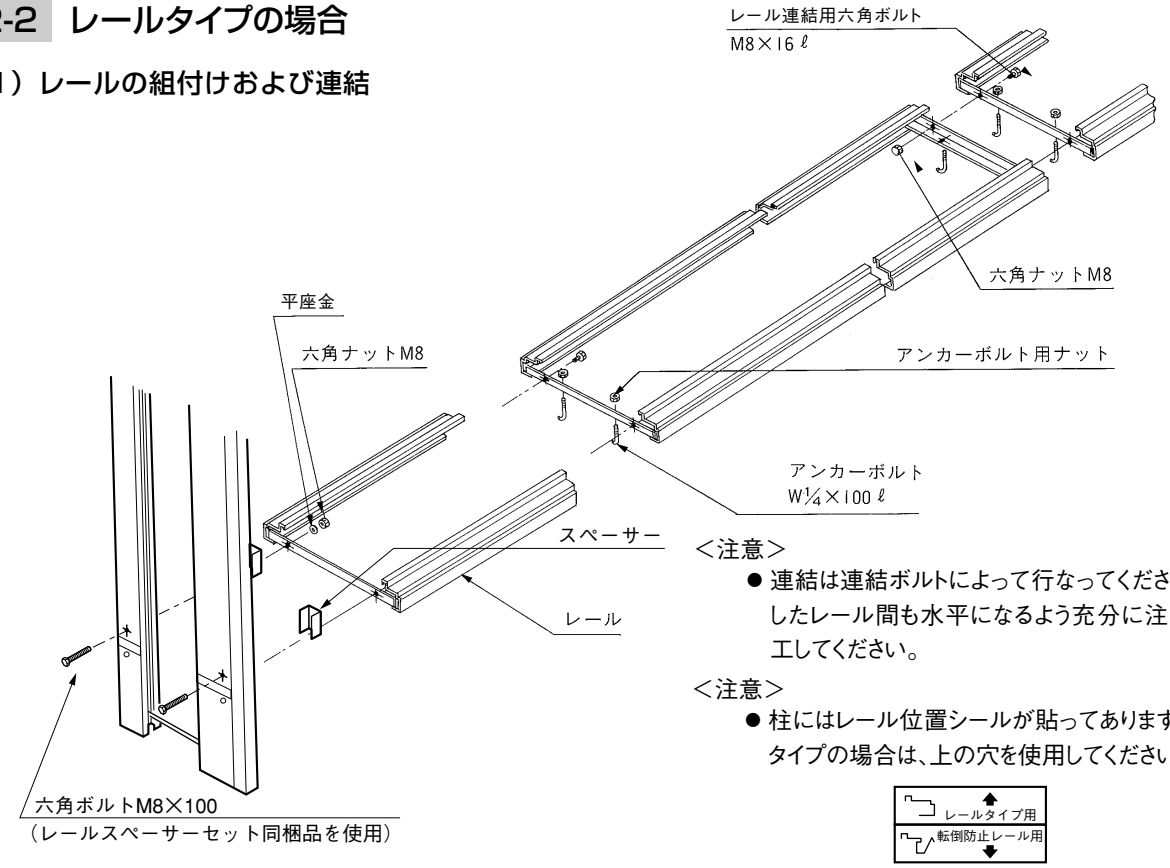
＜注意＞
- 柱にはレール位置シールが貼ってあります。転倒防止レールタイプの場合は、下の穴を使用してください。

レール位置シール

＜注意＞
- 吊元柱とレール、戸当り柱とレールの間には、水抜き部品を取付けてください。

2-2 レールタイプの場合

（1）レールの組付けおよび連結

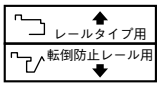


＜注意＞

- 連結は連結ボルトによって行なってください。連結したレール間も水平になるよう充分に注意して施工してください。

＜注意＞

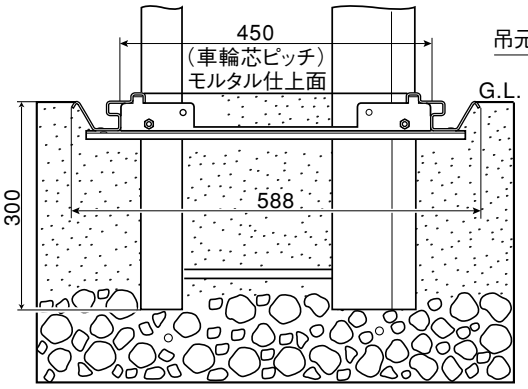
- 柱にはレール位置シールが貼ってあります。レールタイプの場合は、上の穴を使用してください。

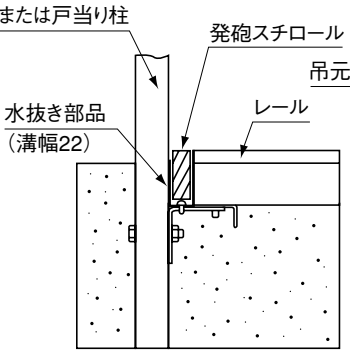


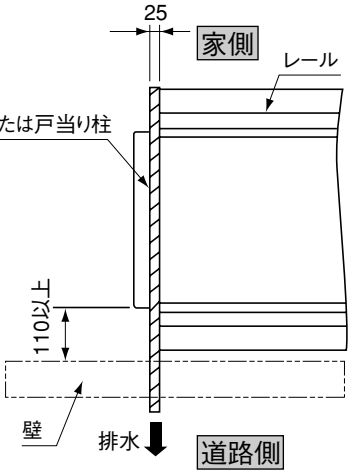
レール位置シール

3. レールタイプの柱およびレールの埋設

3-1 転倒防止レールタイプの場合



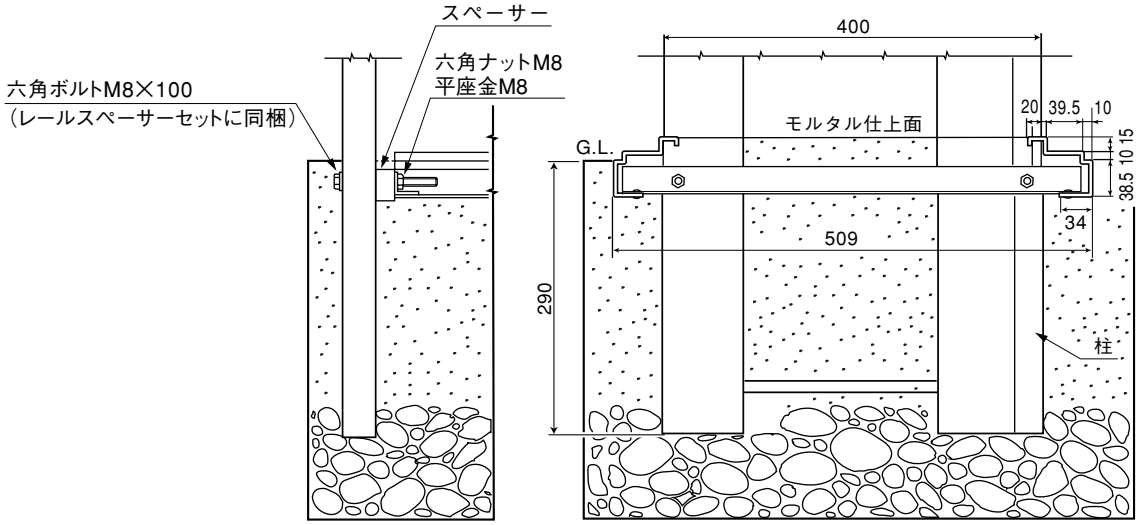


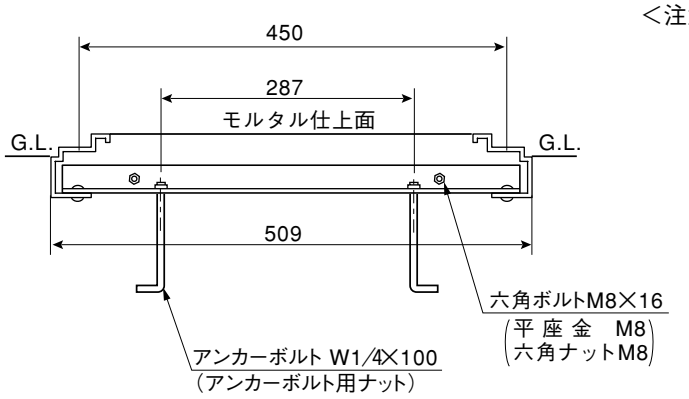


＜注意＞

- 吊元柱または戸当り柱とレールとの間には、水抜き部品を取付けてください。
- レールの内側にも充分モルタルを突き込んでください。
- レールは柱と直角にかつ G.L.と水平になるように充分注意してください。
- モルタル付着防止のため、水抜き部品内には、発砲スチロールが入っています。施工後に取りはずしてください。
- 水抜き部品より外部へ排水する溝を設けてください。
- 基礎を施工するときにサロンストッパー埋込金具の位置に埋込金具よりも大きめの穴を開けておくと、後の施工が容易になります。施工位置は 5.サロンストッパー埋込金具の標準施工寸法図 を参照してください。

3-2 レールタイプの場合

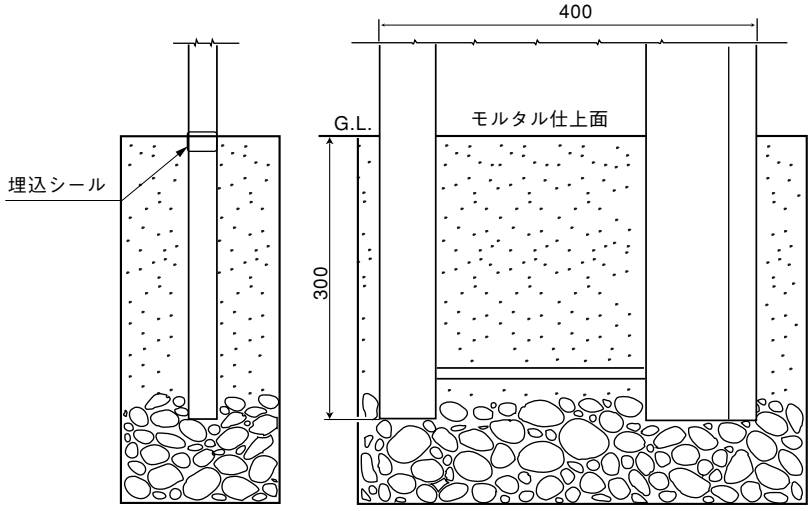




＜注意＞

- 柱の埋込みはレールのG.L.ラインに合わせてください。
  （G.L.ラインは柱埋込みシールより10mm下になります。）
- レールの内側にも充分モルタルを突き込んでください。
- レールは柱と直角にかつ G.L.と水平になるように充分注意してください。
- 壁が隣接する場合、本体最大幅を確認して柱およびレールの埋設を行なってください。
- 基礎を施工するときにサロンストッパー埋込金具の位置に埋込金具よりも大きめの穴を開けておくと、後の施工が容易になります。施工位置は 5.サロンストッパー埋込金具の標準施工寸法図 を参照してください。

4. ノンレールタイプの柱の埋設

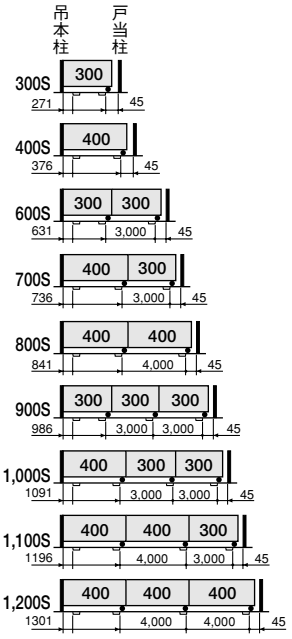


＜注意＞

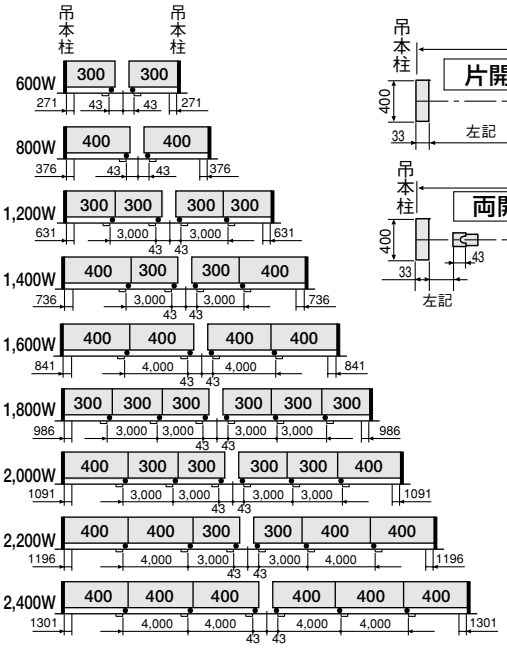
- 埋込シールの位置がキャスターの駆動面になる様モルタルを施工してください。
- 柱はG.L.に直角になる様充分注意してください。
- 壁が隣接する場合、本体最大幅を確認し、柱の埋設を行なってください。
- 基礎を施工するときにサロンストッパー埋込金具の位置に埋込金具よりも大きめの穴を開けておくと、後の施工が容易になります。施工位置は 5.サロンストッパー埋込金具の標準施工寸法図 を参照してください。

5. サロンストッパー埋込金具の標準施工寸法図

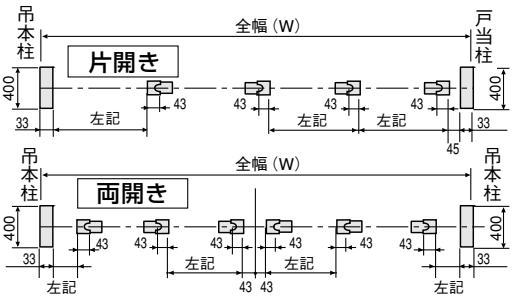
（1）片開き

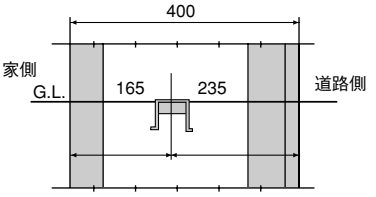


（2）両開き



（3）サロンストッパー埋込金具の施工位置

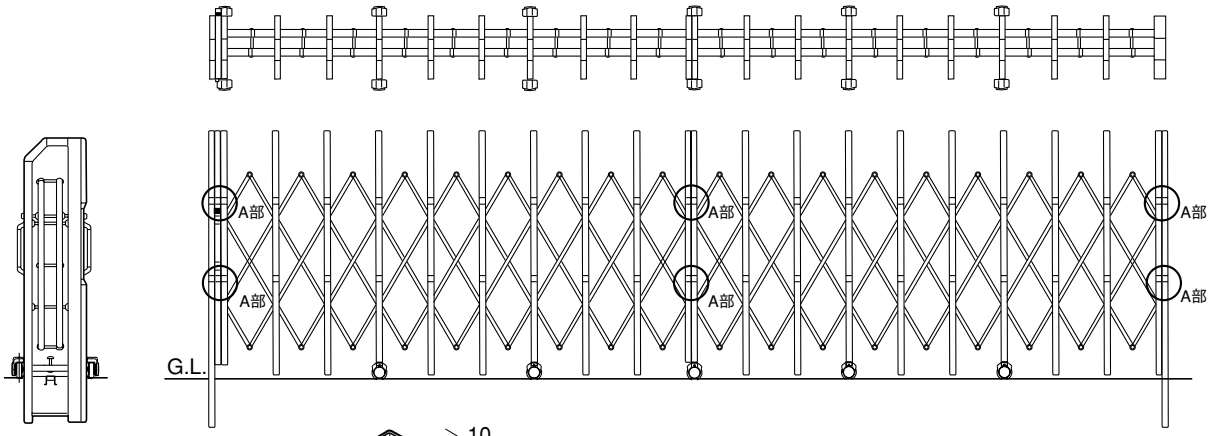


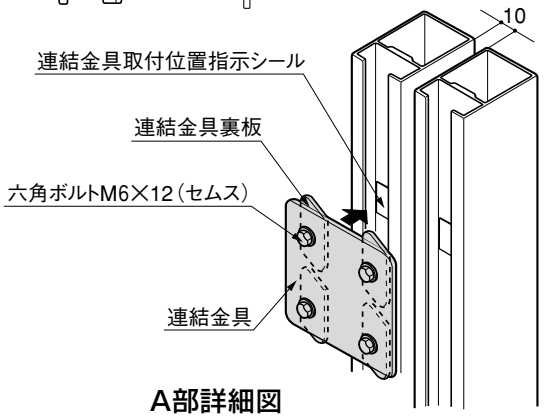


＜注意＞

- 転倒防止レールタイプの場合水抜き部品と干渉するため、片開きの戸当り柱側にはサロンストッパー埋込金具を施工しないでください。
- サロンストッパー埋込金具の最終的な位置決めは 10.サロンストッパー埋込金具の位置決めとサロンストッパーの上下調整および使用方法 にしたがってください。

6. ガイド柱～本体～柱の連結

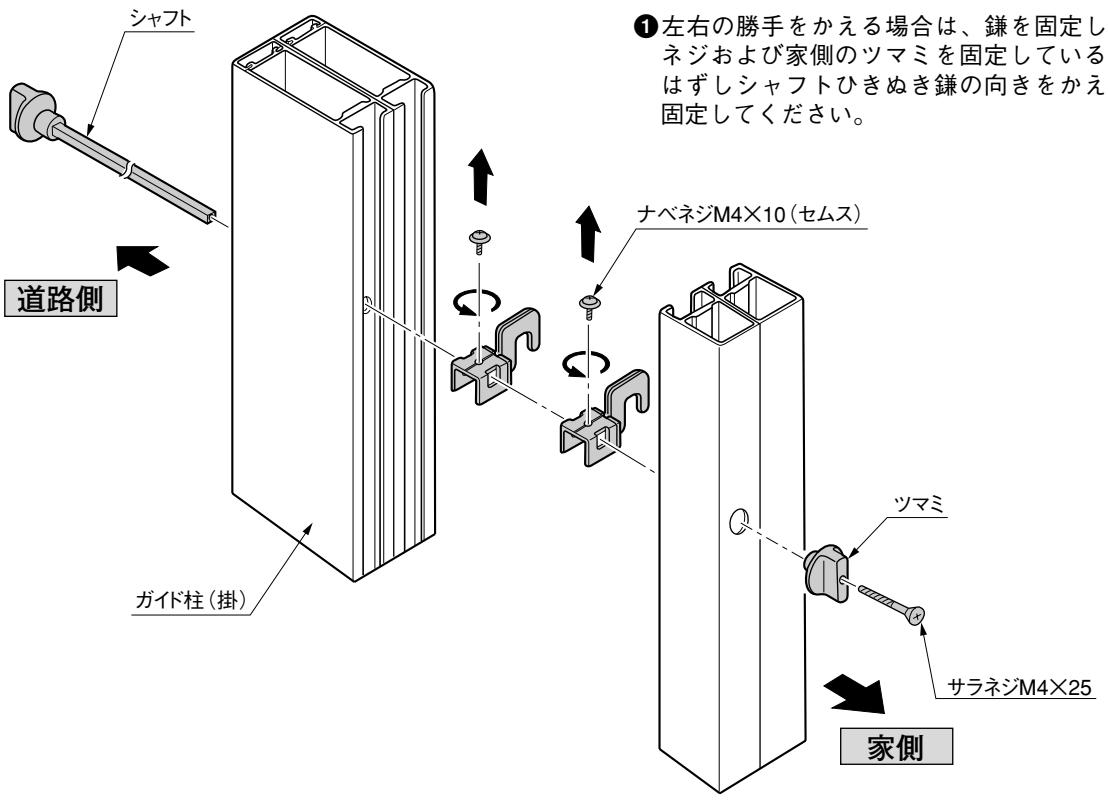




A部詳細図

❶ガイド柱、本体、吊元柱をそれぞれ連結金具で連結してください。
❷連結金具上部をシールに合わせて裏板をミゾにさし込み90°回転させた状態でボルトで固定してください。
❸柱上部が平らになる様位置を調整してください。

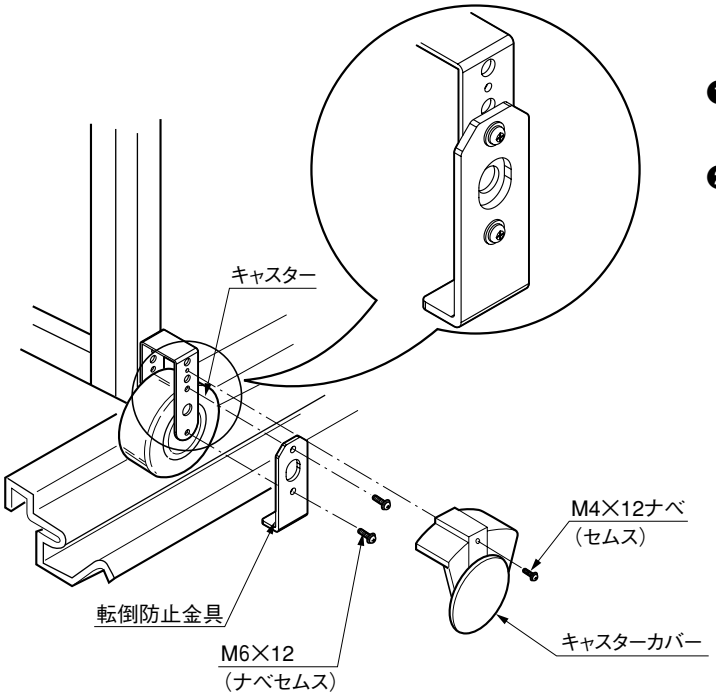
7. 鎌の勝手の変更



❶左右の勝手をかえる場合は、鎌を固定しているナベネジおよび家側のツマミを固定しているサラネジをはずしシャフトひきぬき鎌の向きをかえ逆の手順で固定してください。

8. 転倒防止金具およびキャスターカバーの取付け

8-1 転倒防止レールタイプの場合



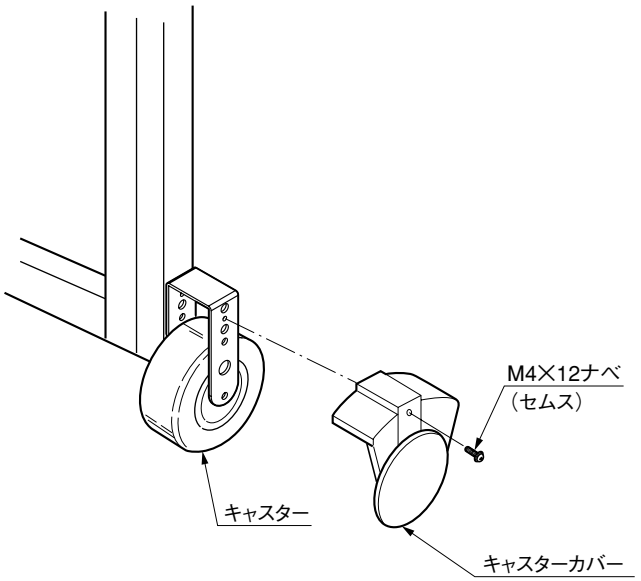
❶門扉本体のキャスターに転倒防止金具をM6×12（ナベセムス）で取付けてください。

❷キャスターカバーをM4×12ナベ（セムス）で取付けてください。

D110_200505F

9. キャスターカバーの取付方法

9-1 レールタイプおよびノンレールタイプの場合

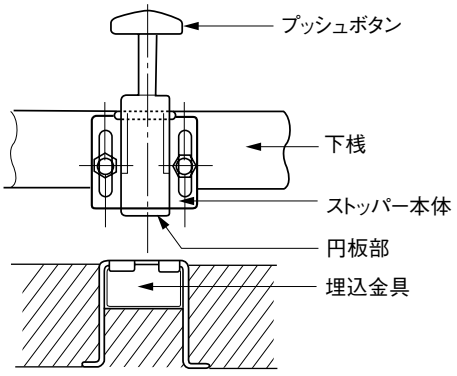


❶キャスターカバーをM4×12ナベ（セムス）で取付けてください。

10. サロンストッパー埋込金具の位置決めとサロンストッパーの上下調整および使用方法

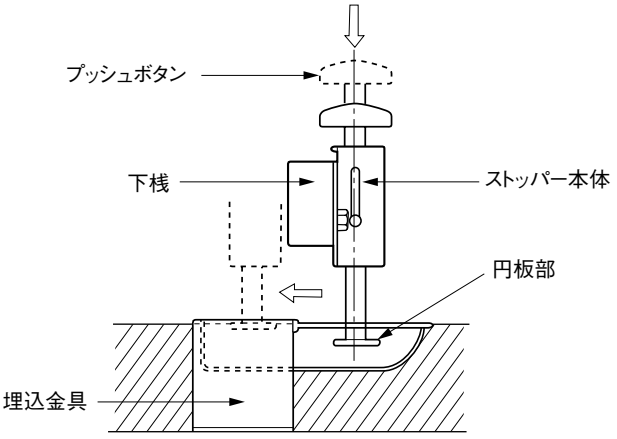
※本体施工後、サロンストッパー埋込金具を現物合わせで位置決めして、埋込んでください。
※レール仕様の場合、伸縮時に本体と埋込金具が当たらないように注意して埋込んでください。

10-1 上下調整方法



❶プッシュボタンを押し下げてストッパーの円板部が埋込金具に掛かる様ネジ部にて調整してください。

10-2 使用方法



❶プッシュボタンを押し下げたままの状態にてキャスター部を前進させ埋込金具に掛けてください。

取説コード

D110

DYK604460A

91-03A

200505F_1006